

報道関係者 各位

肥前島原松平文庫収蔵品展 「武士のおつとめ—古文書にみる島原のあゆみ」の開催について

標記の件について、下記（別紙）のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 日 程 令和3年1月5日（火）～令和3年3月30日（火）
2. 時 間 9時～18時 ※金曜日は20時まで
3. 休館日 毎週月曜日、1月31日（日）、2月28日（日）（月末休館）
2月9日（火）～17日（水）（図書館特別整理期間）
2. 会 場 松平文庫展示室（島原図書館1階）
3. 概 要 肥前島原松平文庫では現在、各家から寄贈・寄託された資料の調査・整理を進め、将来的には報告書（目録）を刊行し、情報発信を行います。
そこで、本企画展においては、平成31年度に調査した約2,400点の中から30点前後を選び出し、島原藩（藩主）や藩士が担った役割について紹介していきます。



【担当から一言】

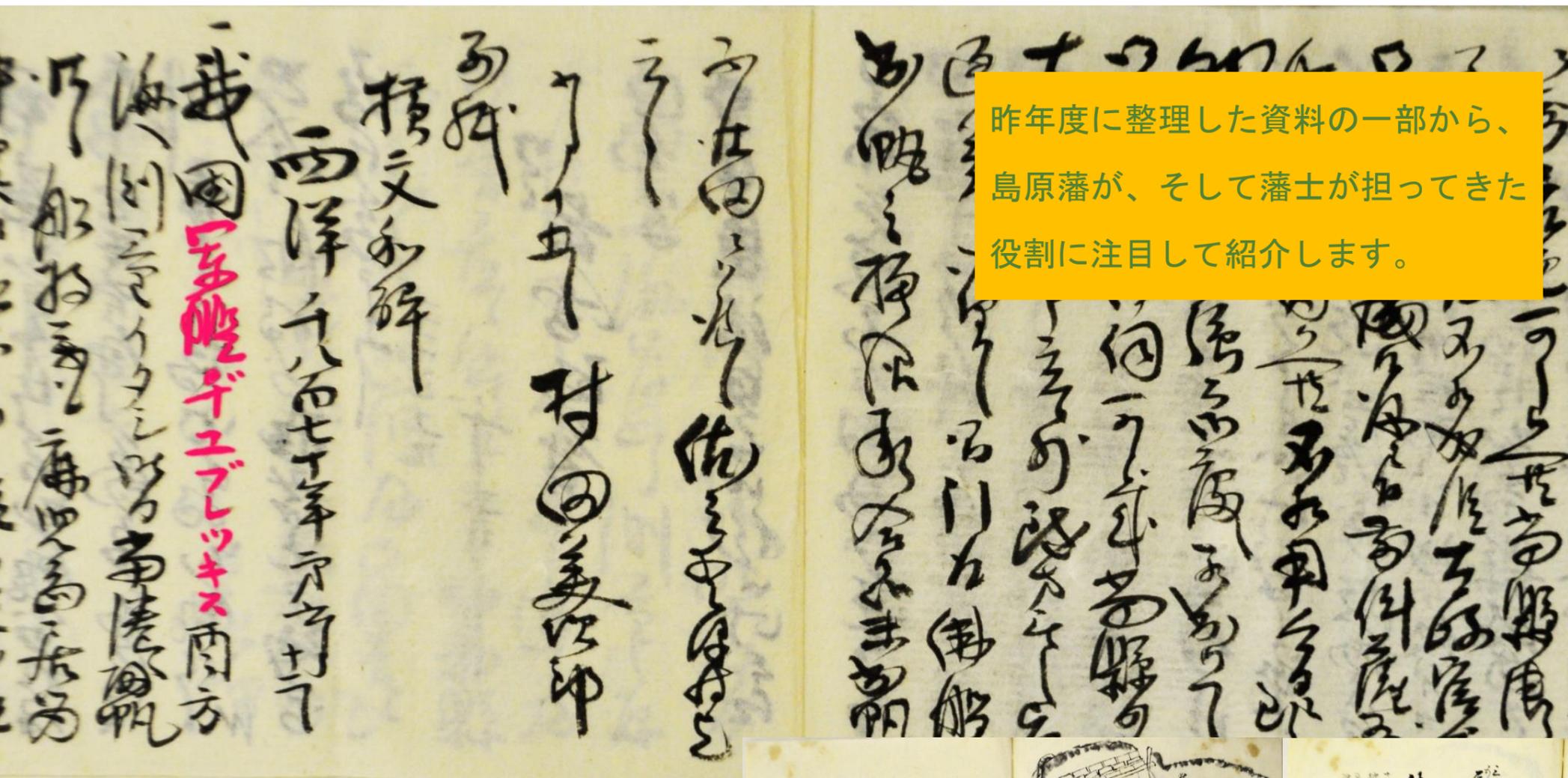
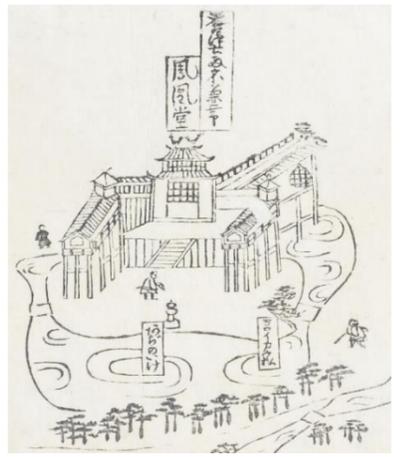
展示室前には消毒液を設置して新型コロナウイルス感染拡大防止に努めます。スペースにゆとりをもってご覧ください。

島原守護神 しまばらん

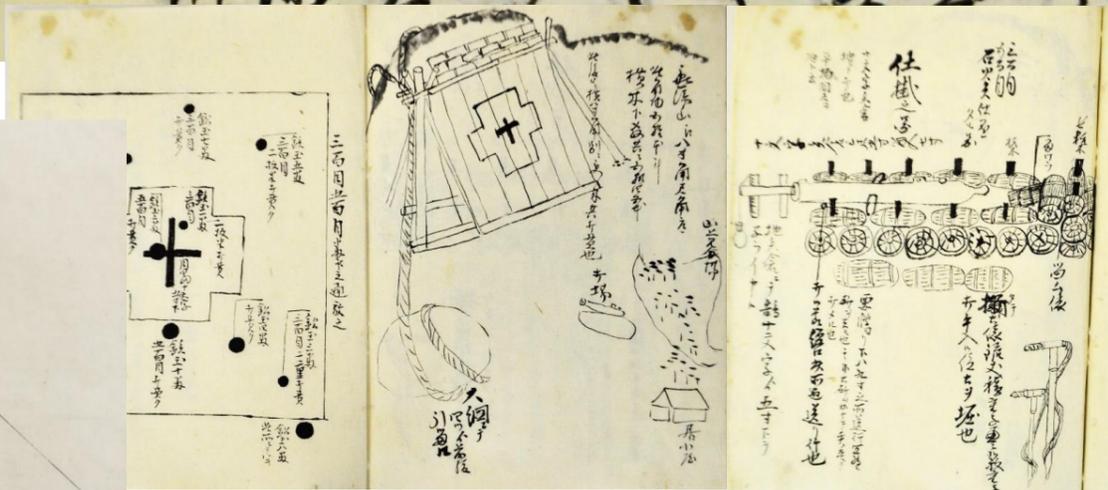
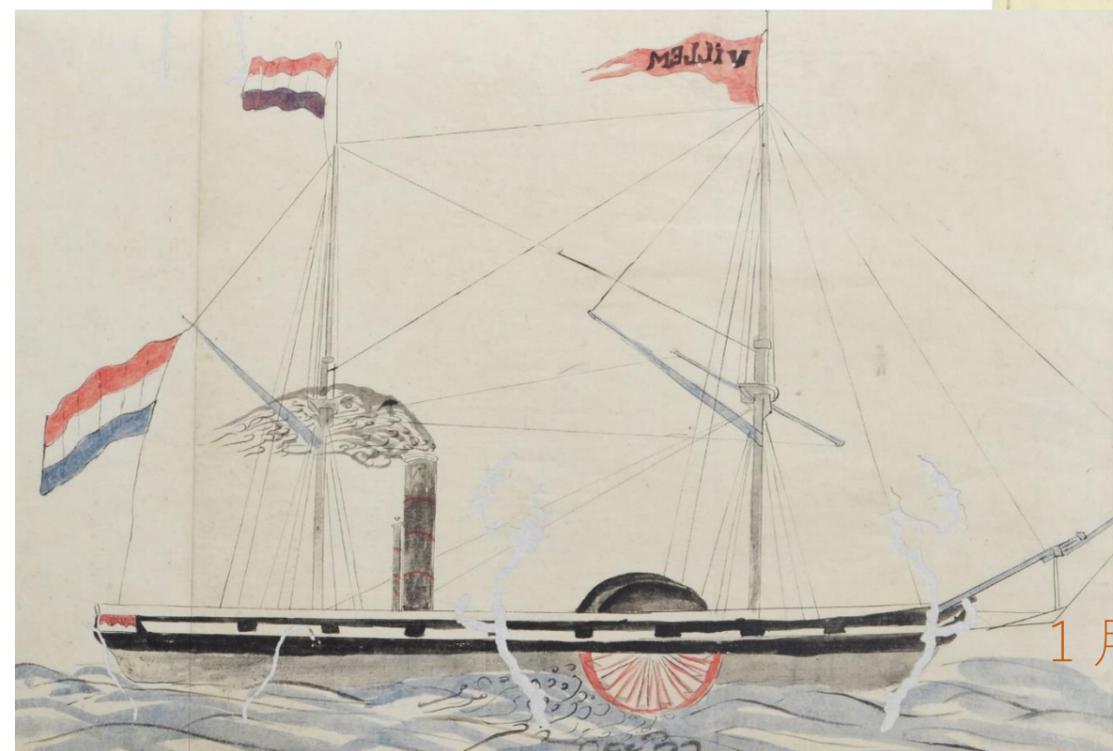
担当：島原市教育委員会 社会教育課 文化財保護推進室
担当 吉田 信也
電話：0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp

武士のおつとめ

—古文書にみる島原のあゆみ



昨年度に整理した資料の一部から、島原藩が、そして藩士が担ってきた役割に注目して紹介します。



1月5日（火）～3月30日（火）

松平文庫・島原城保管文書史料調査概要

【事業目的】

島原市は、旧島原藩主・松平家から寄贈された歴史的な資料－肥前島原松平文庫（長崎県指定有形文化財）－をはじめ、島原藩の藩士家に伝えられた数多くの資料を所有しています。肥前島原松平文庫は目録が刊行されていますが、その他の資料については、ほとんどが未調査、未整理で、目録も刊行されていません。

島原藩や近代島原の歴史について調査研究を進めるために、これらの未整理資料約8,000点を早急に調査・整理し、報告書（目録）を刊行し、情報発信を行います。

また、調査のなかで得られた新知見をもとに、企画展示やシンポジウムなどを積極的に行います。こうした一連の事業を通じて、広く内外に島原の新たな歴史像・地域像を発信・提示し続けることで、島原市が所有する貴重な資料を地域の活性化に役立てます。

【全体の事業期間】

2018年度から2021年度までの4年間調査を実施し、調査報告書（目録）を刊行します。

【事業体制】

補助事業者 長崎県島原市

【本年度総事業費および補助金額・補助率】

総事業費	3,013,709円
島原市（事業主体）	1,452,709円
長崎県補助金	260,000円
国庫補助金	1,301,000円

【本年度調査内容の概要】

深溝松平家資料や霊丘神社資料などの松平文庫所蔵資料、および島原城保管資料について、合計2,427点を調査し、調書を作成しました。

【活用の予定】

島原図書館1階にある松平文庫展示室で、平成31年度に実施した本事業で調査した資料の紹介を行います。（2020年5月頃）→今回に延期

平成31年度は、大半が島原藩日記（島原市指定有形文化財）である霊丘神社資料や、旧島原藩主・松平家（深溝松平家）の資料、旧藩士の諸家資料を調査しました。

霊丘神社資料の大半を占める島原藩日記は、松平家が島原を収める直前の丹波国福知山時代から明治期までの公務日記が断続的に残っており、島原藩政を知る上で不可欠の資料です。

その他、松平家の近代資料や消えた近代をうかがい知ることのできる資料や藩士家に伝わってきた資料など、江戸期島原の政治や武家の歴史が詰まった資料が揃いました。



島原藩日記（霊丘神社資料）



本事業は、文化庁地域活性化のための特色ある文化財（美術工芸品）調査・活用事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2018